

PTA活動紹介		高P連受付番号	
PTA(学校)名	愛知県立中村高等学校PTA	部門	ノンジャンル
活動テーマ	子どもに魚を与えるのではなく、魚の捕り方を教える 一学校をサポートする役割にとどまらず、子どもに生き方を教えるPTA-		
キーワード	文化祭	バザー	模擬店
開催日	平成28年9月10日(土) 本校文化祭一般開放日		
場所	本校会議室、及び中庭		
時間	午前9時～午後3時		
参加者	PTA理事・常任理事 約100名		
趣旨	1 PTAとして文化祭に参加することで、親自身がPTA活動を楽しむ。 2 親がPTA活動を思いっきり楽しんでいる姿を子どもに見せることで、子どもの将来に明るいイメージを抱かせる。 3 模擬店の需要において、金額、味、数量とも子ども達の満足するものを提供して、子どもには真似のできない親の力を見せる。 4 大きな成果・利益を出して、学校への寄付をする。		
活動ポイント	PTAが楽しみながら、しかし限界まで努力して成果を上げていく。		
主体委員会名・講師名等	PTA理事会・常任理事会		

【基本構成】 不要品バザー 夏休み前から家庭に余っている品を募り、文化祭で販売する。
 模擬店 文化祭一般開放日に、食品を販売する。

【歴史をひもとくと】 不要品バザーは1997年から今年で20年目。
 模擬店は2010年から始まり7年目。

【年間のスケジュール】

	不要品バザー	模擬店
6/7 常任理事会	バザーについての大枠を確認し、保護者案内文書を点検。	模擬店についての大枠を確認し、メニューを決める。
6/8	全校生徒・家庭に向けて、不要品を提供してもらいたい旨の文書を配布。	
6/28 研修会		調理室にて作成、試食会。
7/13	保護者会期間に、品物を集める。	
9/7 体育祭	品物に値段をつけ、会場である会議室にレイアウトする。	
9/9 文化祭1日目		食材の買い付け、調理室の準備 中庭で調理・販売場所の設置。
9/10 文化祭2日目	9時30分から販売開始、13時30分には完売。会議室の復元。	9時30分から販売開始、13時30分には完売。 終了後は、周辺の清掃も綿密に。



・関わる理事の方々が楽しく、また子ども達においしく提供できる商品選びから始まりました。
 試作、試食をして仕入れ単価、作業性を考え商品が決まり、次に理事の方に制作しやすいよう手はず書を作りました。

【模擬店販売・不要品バザー売り上げ実績】

	H26	H27	H28
焼きそば	432食	焼きそば 859食	焼きそば 900食
唐揚げ	304食	唐揚げ 528食	唐揚げ 500食
ワッフル	300食	ワッフル 495食	団子 200食
ピラフ	300食		フランク 360食
			チュロス 300食
合計	1,336食	合計 1,882食	合計 2,260食
バザー売上	78,806円	バザー売上 73,500円	バザー売上 72,230円

★収益は同窓会基金「英気の泉」に毎年払い込みます。「英気の泉」は中村高校の国際交流事業等を支えています。



【参加者・役員の感想】

- ・制作数は限界ぎりぎりまで多くなり、理事の方には重労働でしたが、達成感はかなりのものでした。
- ・食事提供数は過去最大で、一昨年の1.7倍、昨年の1.2倍となり、不可能と言われていた食事の需要数に対して、概ね供給数を満たすことができました。
- ・一方バザーでは例年より商品の種類を絞り、出品総数を減らしましたが、それでも例年並みの利益を確保しました。

【総括】

- ・このような結果にこぎつけることが、できたのは会長がトップダウンで努力を強いたわけではなく、多くの理事による試行錯誤と工夫を重ねた結果です。
- ・バザーにおいてもこれまでの方針を変えて、売れる商品を考えて仕入れることで、効率的な販売を行うことができました。
- ・上からの指示ではなく、自ら考え自ら行動する、一言でいうなら理事の皆さんの努力の成果です。不可能と言われていたことを可能にする方法を考えて実行し、大きな利益を出し、しかもそれを皆さんが楽しんでいました。
- ・模擬店・バザーは、子どもに魚の捕り方を教える最善の場となったと思います。

